

第26回「議員と語りかい」報告書

1班 (No.1)

開催日	平成30年 5月10日 (木) 14時00分 ~ 15時30分		
開催場所	野口改善センター		
団体名	野口地区自治公民館	参加人員	18人 (男18人:女0人)
出席議員	山田 龍治、前島 広紀、宮内 博、山口 仁美、池田 守、 有村 隆志、厚地 覚		
役割分担	班 長 (池田 守) 副班長 (宮内 博) 記録係 (山口 仁美)		
テーマ及び具 体的な内容	<ul style="list-style-type: none"> ・地域の課題 ・生活環境整備 		

意見交換での 主な意見等	◆は参加者の発言 ◇は議員の発言
	<p>◆防災無線の活用。主に行方不明者の捜索願などの活用が現状であるが、PM2.5飛来など健康に害を与える事項等では、防災無線を活用できないか。</p> <p>◇市のほうではデジタル化を随時進めている。インフルエンザの流行情報など多岐に渡って活用しており、今後も行政無線という形で活用していくものと考えている。</p> <p>市全体で流す情報に対する要望については、執行部に伝えておく。</p> <p>◆県道野口橋付近から見次交差点まで常に渋滞している現状。しらさぎ橋や京セラホテルのところに橋ができたが渋滞緩和の効果があつたか疑問。どのように評価しているか。また対策は。</p> <p>◇渋滞については、まことにそうである。市も大きな課題と考えている。</p> <p>渋滞は道路一本で済む問題ではなく、たとえば第一工大のところに跨線橋を作ったり、しらさぎ橋、隼人駅東地区の区画整理など大きなところは少しずつ進めている。用地買収等があるので、すぐには進まないが、着実に進んでいる。</p> <p>また、道路に関しては渋滞だけでなく、まずは危ないところを優先し改良するということも必要である。産業建設常任委員会で天降川小学校近くなど、議員が視察に行っている。</p> <p>道路を通すというだけでなく、渋滞原因になる交差点の工夫など、できるところから議員も意見を出していく。</p> <p>議会としても、動きを注視していきたい</p>

◆は参加者の発言 ◇は議員の発言

◆下水道はいつごろ完成するのか。幹線・支線の完成状況を知りたい。

◇把握をしていないため、執行部に確認して公民館長に返答したい。

◆道路の穴ぼこの補修は早いですが、すぐに穴があく。簡素な応急処置だけでなく、きちんとすべきではないか。

◇危険をなくすために、すぐ補修を行っている。何度も補修が必要なところについては、全面舗装など次の段階も考えられる。市民の情報があることで対応できるので、今後とも情報提供へのご協力をお願いしたい。

◆中央公園の排水が悪い。大雨のあとはいつも水がたまっている。また、野口西地区は大雨のたびにあふれている。車庫に流れ込んで損害も出ており、対応できないか。

意見交換での主な意見等
◇市では地域ごとに、まちづくり委員会というものを作っている。優先順位をつけてあげてもらった中から、まちづくり計画に入れ、進めていくのがスムーズかと思われる。必要に応じて、産業建設委員会で現地調査をしたい。

◆自治会加入率が悪く、声をかけても「メリットは何か?」と聞かれてしまう。自治会加入のメリットを市民課で紙にかいてほしい。

◇転入受付では、自治会の案内・自治会長の連絡先も案内をしている。

◇メリットについては、自ら発信していくことも大事なのではないか。

◆民泊については、どのように対応しているのか。

◇おそらく民泊についてのしっかりした法律自体がない。3ヶ月ほど前の時点では、市のほうも把握はされていないようであった。外国人居住者が貸し出しているという話もあるが、民間の事業であり、行政で把握するのは難しいのではないか。

◇2018年6月民泊新法ができるようだ。民泊については、調べて返答したい。

◆野口消防詰め所が非常に古い。ほかの地域のことにはわからないが、トイレくらいは簡易トイレくらいまでにはしてほしい。市の消防詰め所はどのような計画でリニューアルされているか。

◇公共施設マネジメント計画にそって、要望が出ているところ、古いところから優先度を考えて整備している。公共下水道の進捗との絡みもあるかと思うが順に整備されると思う。